

なかつか 亮



7月28日に「JR東日本」交渉を行います

五反田駅乗り換え通路に屋根設置

西大井駅ホームのベンチ増設 等を求めます



共産党は「もっと安全で利用しやすい公共交通に」「高齢者や障害者などの視点もしっかりと取り入れてほしい」との思いから、地域住民と一緒にJR東日本交渉を度々、実施してきました。これまでにもホームドアの設置推進や西大井駅のエレベーター、駅ホームベンチの設置などを推進。7月28日に行なうJR交渉では、五反田駅を中心に4点の要望を行います。今後も公共交通など、何かご要望がございましたら、ご遠慮なくお聞かせ下さい。

JR交渉で取り上げる項目

- ① JR五反田駅と都営地下鉄浅草線の乗り換え通路に雨よけ屋根の設置を
- ② 五反田駅周辺に駐輪場を増設を
- ③ JR五反田駅と東急池上線の乗り換え通路バリアフリー工事の進捗状況説明
- ④ 西大井駅のエレベーターとエスカレーターから駅ホームに降りた所にベンチの増設を

屋根の設置を

乗り換え通路(上写真)に屋根をつけてほしいとの要望は、高齢者やサラリーマンはもちろんのこと、ベビーカーを押すお母さんからも強い要望がありました。

あるお母さんは「雨が降るたびに、このちょっとした距離で傘をさす。何とかならないかと、いつも考えていた」と話します。交渉では、こうした駅利用者の声をしっかりと伝えたいと思います。裏

西大井駅の ホームベンチ増設を

今回のJR交渉は五反田駅が中心ですが、一点だけ西大井駅を追加。それは西大井駅ホームベンチの増設です。

西大井駅ではエレベーター設置に続き、3年前に駅ホームベンチの増設が実現しました。

しかし、ある高齢者の方からこんな声が増えたことはうれしいが、どうしてそんなに遠い所につくたの」との意見です。駅ホームをよく見ると、エレベーターやエスカレーターの降りた付近にベンチを設置する場所は十分にあるのに、ベンチ

は、少し遠くに設置されたのです。

実は、ベンチを設置することになった時に、こうした「使い勝手」の問題があると、JRに対して設計図面を工事前に見せてほしいと再三求めましたが、拒まれた経過がありました。

高齢者、障害者の 視点を忘れずに

今回は、高齢者や

障害がある方の視点を十分に解かってほしいとの思いから、要望に追加しました。JRには「足りないから作る」だけでなく、こうした視点を常に持って頂きたいと思えます。交渉結果はおつて報告します。なかつか亮

被災地ボランティアの報告会開催

7月16日(土)大井第二区民集会所にて、宮城県石巻市への被災地ボランティア報告会が開催。報告会では、現地ボランティアセンターが作成した地震発生直後の映像が紹介され、続いて3泊4日のボランティア活動が報告されました。

地震発生直後の映像は驚かされました。当日、偶然に撮影された幼稚園の発表会。地震発生と共に、子ども達の悲鳴が上がります。この幼稚園は、少し高台にあったので津波の直撃はありませんでしたが、市街地では46%が津波で浸水。人口16万人の石巻市だけで、死者・行方不明者は5897人。報告会では、被災者の

生活再建がほとんど進んでいない現状が語られました。東日本大震災から4カ月。引き続き被災者支援に力をあわせましょう。



ほとんど手つかずの石巻市街地の様子
—6月27日撮影—

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

9月9日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に無料相談会を行なっています。法律のこと、生活のこと等お困りのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。なお、「生活なんでも相談」は毎日受け付けていますので、いつでもご連絡ください。なかつか亮

連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**